



第61回日本腎臓学会学術総会

The 61st Annual Meeting of the Japanese Society of Nephrology

Prof. Loreto Gesualdo

テーマ：慢性腎臓病の病態を基礎および臨床的側面から診る

Loreto Gesualdo 先生はイタリア Bari 大学腎臓内科の教授であり、同大学の医学部長でもあられます。先生は糸球体腎炎の病態および腎障害進展における細胞分子学的メカニズムの解明に精力を注がれておられ、腎疾患の免疫学、腎疾患と炎症、線維化の関わりに関して多大な業績をあげられておられます。また、臨床に即した研究としては、IgA 腎症モデルの実験動物を用いた糸球体及び間質の炎症に関する研究もされておられます。現在は、糖尿病性腎症、IgA 腎症、膜性腎症などのいくつかの慢性腎臓病において、診断、予後、治療効果判定につながる尿中バイオマーカーの探索を行われておられるとのこと。今回の第 61 回日本腎臓学会学術総会においても、糖尿病における腎障害、バイオマーカーに関する話をして頂くこととなっております。基礎および臨床の幅広い視点から腎疾患を考える適切なアドバイスを頂けると信じておりますので、多数の若手の先生にご参加頂き、意義のあるディスカッションを行うことができればと思っております。国際学会での発表の練習にもなると思いますので、気軽にご参加下さい。新潟で皆様とざっくばらんなディスカッションができるのを楽しみにしております。

【講演スケジュール】

セッション：招請講演 4

「Diabetic Kidney Damage: a puzzle waiting biomarkers」

日 時：2018年6月10日（日）11:00～11:50

会 場：第1会場（朱鷺メッセ 1階 展示ホールB）